

【新規】新庁舎建設に向けた庁舎機能検討

◇事業目的

1968（昭和43）年に建築された本庁舎・議会棟・第三庁舎は、築50年を超え、建物本体や設備の老朽化が進んでいる一方、区を取り巻く環境変化や多様化する行政需要に対応する機能が求められている。

【現庁舎の建物概要】

1. 本庁舎・議会棟・第三庁舎
1968(昭和43)年竣工、地上8階・6階・6階、
延床面積計 29,481 m²
2. 第二庁舎
1994(平成6)年竣工、地上8階、
延床面積 13,620 m²



◇事業内容

隣接の広町地区への移転に向け、新庁舎機能の検討を含めた準備を進める。

1. 庁内検討会

職員による分野別、横断的なPTにより調査検討を行う。

2. 庁舎機能検討委員会

幅広い意見を反映させるため、区内関係団体、公募区民、学識経験者、区議会議員などで構成する検討委員会を立ち上げ、審議を行う。

3. 機能検討から移転までの想定スケジュール

令和 元年度 (2019)	令和 2年度 (2020)	令和 3年度 (2021)	令和 4年度 (2022)	令和 5年度 (2023)	令和 6年度 (2024)	令和 7年度 (2025)	令和 8年度 (2026)	令和 9年度 (2027)
	機能 検討	基本 構 想 ・ 設 計			新 庁 舎 建 設			移 転

◇事業予算

19,600千円

(内訳)

会議運営経費 2,440千円

業務支援委託経費 17,160千円

問い合わせ：総務部 経理課長 電話 03-5742-6636

【新規】区民のアイデア発！ 区のオープンデータを活用した公式アプリ

◇事業目的

オープンデータを活用し、区民のアイデアを「品川区公式アプリ」として具現化することにより、区民視点での行政サービスを提供し、区民サービスの向上につなげる。

◇事業内容

区民視点での行政サービスを提供するために、区民参加型ワークショップを開催し、地域課題や解決策のアイデアを集め、区民の声をもとに「品川区公式アプリ」を開発する。

同事業は、2カ年計画を想定。令和2年度はアプリの内容を決定して開発事業者を選定し、令和3年度にアプリ開発・サービス提供を目指す。

1. アプリの内容決定・開発事業者の選定（令和2年度事業）

区民の声を集約し、「品川区公式アプリ」のサービス内容を決定する。

(1) 区民参加型ワークショップ

①アプリ化する区民サービステーマ選定

②アプリの必要機能などを精緻化して内容決定

※昨年度までに実施事業「オープンデータを活用した地域課題を解決するワークショップ」等で寄せられた区民の声（地域課題・テーマ・アイデアなど）も参考とする。

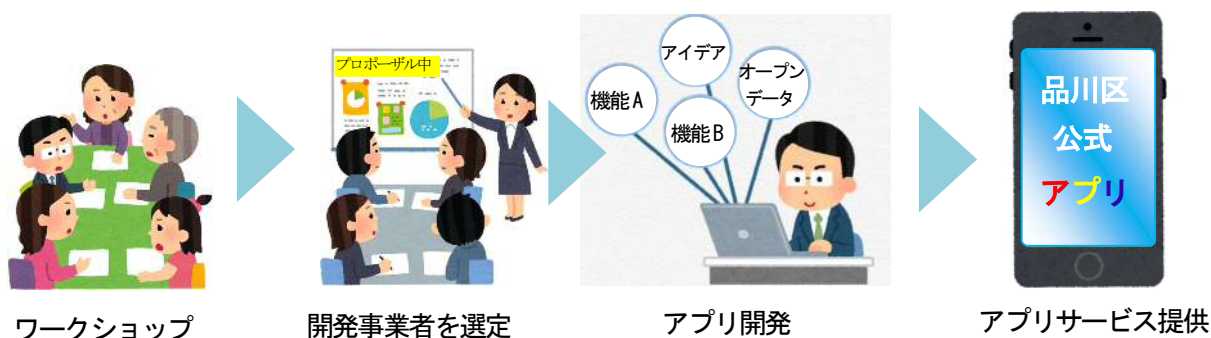
(2) 開発事業者の選定

プロポーザル方式で提案を募り、開発事業者を選定

2. アプリ開発・サービス提供（令和3年度事業）

区民・事業者等との協働を通じてアプリ開発を進め、「品川区公式アプリ」のサービス提供を始める。

◇事業予算 2,780千円（令和2年度事業分）



問い合わせ：企画部 情報推進課長 電話 03-5742-6617